

# 中山騎壱

## 「整備新幹線」の建設におけるメディア報道

### ——新聞記事比較にみる世論の地域・時系列的变化——

## 要旨

本研究は2022年9月に武雄温泉～長崎間で部分開業した西九州新幹線に関する新聞報道を全国紙と地方紙に分けてテキスト分析することで、新幹線建設事業において利害の異なる佐賀県や沿線自治体と国の立場に対してマスメディアの報道がどのような傾向をもって行われているのか調べ、それを基に世論との影響関係について検証するものである。

全国各地で計画がなされ、また建設が進められてきた整備新幹線事業では、その規模の大きさから通過自治体の利害関係や既存の在来線の取り扱い、あるいは環境問題などを巡って協議の難航や対立関係が生まれることがしばしばある。こうした理由から新幹線路線の開業が当初の予定より遅れてしまうことは多く、実際に西九州新幹線も佐賀県内区間の建設方式に関する協議がまとまらず、博多～武雄温泉間は現在も着工に至ることができていない。本研究はこういった問題を背景とし、その課題を考察する目的で行った。

検討においては、全国紙二社と地方紙である佐賀新聞の西九州新幹線整備に関する報道についてテキスト分析を行い、各社の報道傾向を比較するため頻出語の抽出を行ったが、その差異は軽微なものに留まり、決定的な報道の違いは確認されなかった。また世論との影響関係についてはこの差異が認められなかったことから検討が不十分であり、各社の報道記事数と世論調査結果の時系列比較から市民の関心低下を推察するにとどまった。

これらの結果から、整備新幹線報道における新聞報道には全国紙と地方紙での明確な差異はないものと結論付けたが、一部地方紙にのみ多い語句や全国紙二紙間での特徴語の差はみられ、一定程度の傾向は認められる。世論においては、新聞報道が世論調査などに決定的な影響を与えた根拠はなく、有意な影響関係はないと結論付けた。